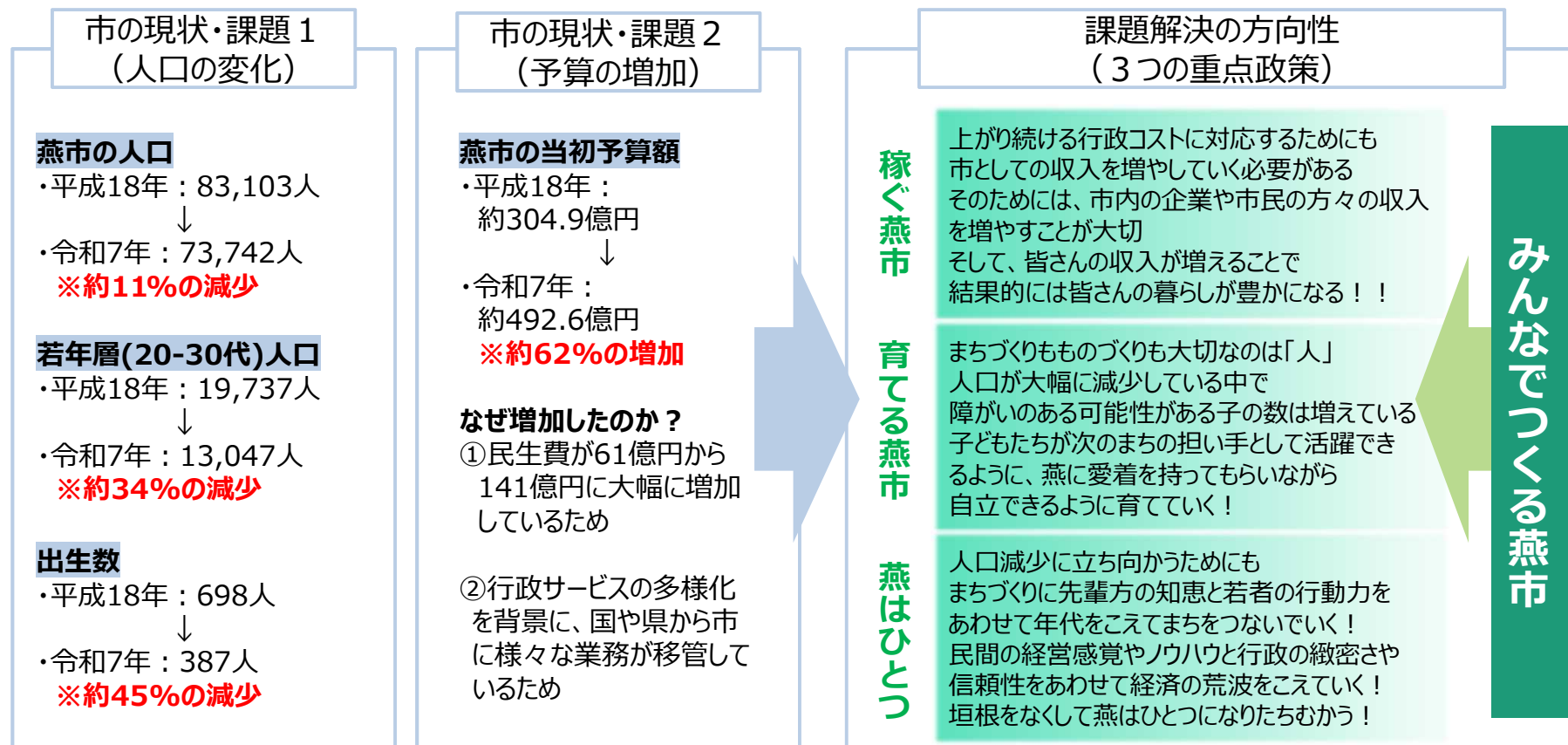


人口減少や行政コスト増の影響による課題が各分野で顕在化する中、行政と民間が一体で政策づくりに取り組み、立場や世代を超えた「みんなでつくる燕市」の理念を実践することで、持続可能で活力あるまちづくりを進めていく必要があるため、以下のとおり、補正予算を計上させていただきます。

1. 官民一体の政策づくりが求められる背景と課題解決の方向性



各分野では、人口減少や行政コスト増が深刻化し課題が顕在化しています。
この課題に対応した政策を、行政だけでなく民間のみなさんにも協力いただき、
将来のあるべき燕市を見据えた政策をつくる必要があります。

**「みんなでつくる燕市」の具体的な取組として
官民一体の政策づくりを行います**

2. 官民一体の政策づくりの趣旨

（１）なぜ官民一体のチームをつくるのか

- ① 「民間は要望する側、行政は要望される側」ではない関係性づくり
- ② 行政を理解してもらい、一緒に燕市を「みんなでつくる」という意識を醸成する

（２）チームづくりの考え方

- ① おおよそ30代、40代を中心とした世代での実務型チームで、行政と民間から構成する新たなチームづくり
- ② 「一部の利益」ではなく、「市全体・市民全体の利益」につなげる政策立案
- ③ 50年先の燕市を考え、今、行うべき政策と、今の燕市に足りていない政策づくり

3. 各分野課題に対する対応

各分野における課題に対して、官民一体の政策づくりを既存の協議会等で対応するか、新たなチームを設置するか検討した結果は、以下のとおりとなります。

(1) 新たなチームを設置して対応する課題

分野	課題	想定する民間チーム員
自治会	今後の自治会の在り方や無理のない自治会活動に向けた検討	若手自治会長
まちづくり協議会	まちづくり協議会の担い手確保や活性化に向けた政策の検討	まちづくり協議会の若手役員
高齢者福祉	高齢者の生きがい、支えるための必要な政策の検討	ケアマネージャー、民生委員、高齢者の見守り協定を市と締結する民間企業、医療ソーシャルワーカー等
工業・商業	稼ぐ産業に向けた必要な政策の検討	燕商工会議所、つばめ商工会の青年部員・職員
観光	燕市の観光を稼ぐ産業の柱とするための政策の検討	市内食品販売店、食品製造業の社員
建設	担い手確保や円滑な連携体制の構築等に向けた検討	燕市建設業協同組合等の建設業組合員

・事業費

分野	予算科目 (事業名)	定数 民間委員のみ ①	報酬単価 ②	令和8年度 会議回数 ③	令和8年度 金額 ④ = ① × ② × ③
自治会	町内関係費	6人	5,000円	3回	90,000円
まちづくり協議会	まちづくり協議会支援事業	11人	5,000円	3回	165,000円
高齢者福祉	介護予防・生活支援事業	10人	5,000円	3回	150,000円
工業・商業	地場産業振興一般事業	8人	5,000円	4回	160,000円
観光	燕ソウルフードプロモーション事業	10人	5,000円	3回	150,000円
建設	土木総務費	10人	5,000円	3回	150,000円
合計		55人		19回	865,000円

（２）既存の協議会等に対応する課題

チームづくりの考え方を踏まえ、メンバーの増員や入替え、会議回数の増加などを積極的に行い、既存の協議会等の会議の活性化・ブラッシュアップ（改善）に努めます。

なお、既存の協議会等に対応する課題は、既決予算の範囲内で執行します。

分野	課題	既存協議会等
医療・健康	医療費の縮減に向けた市の健康増進の政策の検討	燕市健康づくり推進委員会 等
障がい者(児)福祉	障がい者(児)が生きやすい、自立できるための政策の検討	燕市障がい者自立支援協議会
子育て	子育て環境整備や支援の方向性やあり方の政策検討	燕市子ども・子育て会議
農業	稼ぐ農業、担い手確保、ブランディングに向けた政策の検討	若手農業者との意見交換会 等
公共交通	今後の公共交通の在り方や担い手確保にむけた政策の検討	燕・弥彦地域公共交通会議
教育	教育政策や子どもたちが地域に愛着を持つための政策の検討	燕市学校運営協議会 等

4. 今後の進め方

今後は、団体等への趣旨説明やチーム員の人選を進め、チーム員報酬に係る補正予算の議決をいただいた後、各分野課題に対応するチームづくりを行います。

その後、各チームで分野課題の検討を進め、令和9年度当初予算以降、官民一体で練り上げた政策を市議会でご審議いただき、展開してまいります。